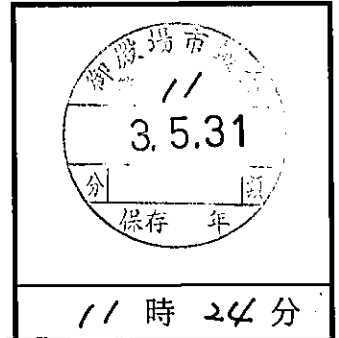


発 言 通 告 書

次のとおり発言の通告をいたします。
令和 3年 5月31日



御殿場市議会議長 様

御殿場市議会議員 19番 辻川 公子

発言の種別 代表質問 一般質問 一括質問 一括答弁方式 一問一答方式 ※ 選択制

質問事項1 学校に於ける富士山噴火の対応について

具体的内容 令和3年3月富士山火山防災対策協議会は富士山ハザードマップの改正を発表した。報道によると融雪型火山泥流は御殿場市役所まで最速13分で多大な影響が指摘されている。大規模噴火は予知が想定され、小規模噴火は予知が確定されていない。子どもの命を守るための防災教育や避難訓練、噴火対策備品の整備について伺う。

質問

- 1 学校に於ける富士山噴火に力点をいれた防災教育について
- 2 地域と家庭の実情に沿った学校の富士山噴火避難訓練の取り組みについて
- 3 富士山噴火対応機材の現状と大切な命を守る噴火対策セットの早期整備について
- 4 今後、改修される校舎を噴火対応構造にしていくことについて

発言の種別 代表質問 一般質問 一括質問 一括答弁方式 一問一答方式 ※ 選択制

質問事項2 小中学校の学校生活の現状と課題、展望について

具体的内容 保護者は長期休暇中の児童の居場所づくりが、子どもが安心して過ごせ、普段では味わえない機会となることを望んでいる。中学生の制服のあり方、生徒数が減少している学校運営も新たな取り組みの検討が必要である。学校生活について伺う。

質問

- 1 小学校の長期休暇中の放課後児童教室の現状と課題認識について
- 2 中学校の制服についての保護者意向調査と多様性の理解について
- 3 児童減少に伴う学級数減少校へ、学年チーム制の導入や学区の柔軟な対応について